



人の心を動かすのは人の心～大切な人への届けたい思いが伝わる時～

校長 吉満 ふくみ



季節の移り変わりは早いものです。北西の風が吹き抜け、落ち葉が増えるとともに、技師さんが丹精込めて育ててくださった花苗をプランターや花壇に定植する季節となりました。

10月下旬から11月は、安城らしい伝統芸能文化を楽しんだり、音楽や読書に触れたりする機会がありました。特に、市の音楽祭は、私にとっては15年ぶりほどに終日音楽祭を鑑賞する機会となり、心が震え感動しました。自分が小学4年生の頃に、器楽部に入り、鍵盤ハーモニカで当時流行っていた「銀河鉄道999」の曲をみんなで舞台上で演奏した時の感動も思い出せた瞬間でもありました。



【未来に架ける虹の橋】

音楽祭前日、最後の練習1度目の後、担当の先生から、「校長先生、どうでしたか?。」と聞かれました。私は子供たちに「とても良くなっているんだけど、欲を言えば94点かな。安城小学校の学校教育目標は『思いやりの心をもち、堂々と生きる』です。練習を始めた頃よりも、みんなは自分の声(演奏)を確かめながら、他の人の声(演奏)もしっかりと聴き、思いやりの心でつながり調和(ハーモニー)が生まれ、とても良くなっています。残りの6点は『堂々と生きる』の部分です。大舞台では、とても緊張するかもしれないけど、一緒にいる仲間や自分を信じて堂々とできると、さらに良くなると思います。」と話しました。その後の2度目の練習では、もちろんこの『堂々と生きる』ができたのは言うまでもありません。練習後、当日会場には行けない教頭先生からも大切な言葉をいただきました。「みなさんは、誰にどんな思いを届けたいか、それが一番大事かと思います。」と。本番当日には、今までで一番ステキな音色を響かせてくれた子供たち。私の涙腺は崩壊し、感動しきりでした。指導された先生たちと、子供たちを支えてくださった保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。

【第75回人権週間・人権の日】 キャッチコピーは→「誰か」のこと じゃない。

昭和23年(1948年)12月10日、国連総会において、全ての人民と全ての国が達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的に謳(うた)った画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められており、人権デーを最終とする1週間(12月4日～10日)は「人権週間」です。いじめや虐待、性被害等の子供の人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティに対する偏見や差別、部落差別(同和問題)、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。



これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして受け止め、身近な人権問題について関心を持ち、正しく理解することが大切です。安城小学校では、日頃から「わたしも大切 あなたも大切」を合言葉に人権尊重の精神に立つ学校づくりに努めておりますが、この期間は特に人権旬間として、学級活動や人権教室において、人権感覚を磨き人権意識を高める活動に取り組んでいきます。



鹿児島レッドリボン月間(11月16日～12月15日) 犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)

世界エイズデー(12月1日) 障害者週間(12月3日～9日)

北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10日～16日)

拉致被害者の救出を求める運動の中で発案されたブルーリボン

先生のHappy(ハッピー, 幸せ)が子供の笑顔をつくる 8月29日に文部科学大臣メッセージ～子供たちのための学校の働き方改革 できることを直ちに、一緒に～が出されました。教職員の長時間労働を改善し、質の高い教育を持続・発展していくためには、保護者や地域の皆様の御理解・御協力が不可欠です。勤務時間前後の1日15分×月20日×11か月＝年間55時間の業務改善ができます。安城っ子のきまりでは、朝の登校時間は7時30分～40分となっています。車両の増加、スピード超過の車ありと情報が入りました。安全確保、不審者対策のためにも、御協力よろしくお願いたします。